

平成21事業年度

決算報告書

自：平成21年4月 1日

至：平成22年3月31日

国立大学法人九州大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備考
収入				
運営費交付金	46,551	46,431	△119	(注1)
施設整備費補助金	9,981	17,066	7,085	(注2)
船舶建造費補助金	—	—	—	
施設整備資金貸付金償還時補助金	—	—	—	
補助金等収入	3,576	7,613	4,036	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	4,404	16,504	12,100	(注4)
自己収入	38,203	55,912	17,709	
授業料、入学料及び検定料収入	11,187	10,849	△336	(注5)
附属病院収入	26,514	31,210	4,696	(注6)
財産処分収入	14	12,857	12,842	(注7)
雑収入	488	995	507	(注8)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	11,026	13,295	2,269	(注9)
引当金取崩	—	—	—	
長期借入金	4,230	4,181	△48	
貸付回収金	—	—	—	
承継剰余金	—	—	—	
旧法人承継積立金	—	—	—	
目的積立金取崩	6,215	8,796	2,581	(注10)
計	124,186	169,801	45,615	
支出				
業務費	71,071	73,623	2,553	(注11)
教育研究経費	41,340	38,507	△2,831	
診療経費	29,731	35,116	5,384	
一般管理費	14,159	15,596	1,438	(注12)
施設整備費	18,615	38,901	20,286	(注13)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	3,576	6,773	3,196	(注14)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	11,026	12,524	1,498	(注15)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	5,726	14,915	9,189	(注16)
国立大学財務・経営センター施設費納付金	13	—	△13	
計	124,186	162,335	38,148	
収入－支出	—	7,466	7,466	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算において、収支を均衡させる必要があるため、当該年度の収入とはならない繰越債務を計上したことにより、予算額に比して決算額が119百万円少額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、予算段階では予定していなかった補正予算及び災害復旧費を計上したことにより、予算額に比して決算額が7,085百万円多額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった設備整備費補助金に係る補正予算の計上及び予算段階では予定していなかった国からの補助金等の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が4,036百万円多額となっています。
- (注4) 国立大学財務・経営センター施設費交付金については、予算段階では予定していなかった不動産購入費を計上したことにより、予算額に比して決算額が12,100百万円多額となっています。
- (注5) 授業料、入学料及び検定料収入については、授業料徴収対象者数の減による授業料収入の減少等により、予算額に比して決算額が336百万円少額となっています。
- (注6) 附属病院収入については、患者数や手術件数の増加等により、予算額に比して決算額が4,696百万円多額となっています。
- (注7) 財産処分収入については、六本松地区キャンパスの売却収入を計上したこと等により、予算額に比して決算額が12,842百万円多額となっています。
- (注8) 雑収入については、資金運用による受取利息、学校財産貸付料収入の増収等により、予算額に比して決算額が507百万円多額となっています。
- (注9) 産学連携等研究収入及び寄附金収入については、予算段階では予定していなかった外部資金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が2,269百万円多額となっています。
- (注10) 目的積立金取崩については、予算段階では未承認であった平成20年度剰余金に係る目的積立金の承認額を計上したことにより、予算額に比して決算額が2,581百万円多額となっています。
- (注11) 業務費については、教育研究環境の充実を目指したキャンパス移転事業等を円滑に推進するための必要経費の捻出を目的として、全学的に経費の節減等に努めた一方、病院収入の増加に伴う費用の増加により、予算額に比して決算額が2,553百万円多額となっています。
- (注12) 一般管理費については、キャンパス移転事業の実施に伴う費用の増加等により、予算額に比して決算額が1,438百万円多額となっています。
- (注13) (注2) 及び (注4) に示した理由等により、予算額に比して決算額が20,286百万円多額となっています。
- (注14) (注3) に示した理由等により、予算額に比して決算額が3,196百万円多額となっています。
- (注15) (注9) に示した理由等により、予算額に比して決算額が1,498百万円多額となっています。
- (注16) 長期借入金償還金については、平成20年度に民間金融機関より借入れた資金の返済を行ったこと等により、予算額に比して決算額が9,189百万円多額となっています。